

CONTENTS



「プレミアリーグ・イングリッシュ」へようこそ	iii
本書の構成と活用法	vi

Chapter 1

基本単語を覚えよう

1 プレミアリーグ20チームの紹介	2
2 ピッチやポジションの名称	14
3 プレーの基本用語	20
4 体の部位とけがの表現	28

Chapter 2

ニュース記事を読んでもみよう

150ワードの記事	34
300ワードの記事	40
500ワードの記事	52

Chapter 3

試合の実況中継を聞いてみよう

テレビやウェブなどで目にするデータの読み方	86
-----------------------	----

Chapter 4

インタビューを聞いてみよう

セスク・ファブレガス Cesc Fabregas	92
デイビッド・ベッカム David Beckham	102
アーロン・モコエナ Aaron Mokoena	110
フランク・ランパード Frank Lampard	120
アーセン・ベンゲル Arsene Wenger	132

Chapter 5

ブックマークしておきたいウェブサイト

Football Forum	押さえておきたいフットボールの基礎知識	13
	ピッチサイズにまつわるトリビア	19
	知って得するプレースタイル表現	27
	イングランドはローカル・ダービーの宝庫	32
	イングランド・フットボール名言集	64
	アナウンサーとコメンテーター、その仕事場とは	90
	ユニークなチャントの世界	142
	フットボールとブックメーカーの密な関係	150

編集協力	佐藤淳子	CD収録時間	約40分
英文校閲	Jonathan Lloyd-Owen	編集	ELEC録音スタジオ

カバーデザイン	内田雅之 (VOLTAGE)
カバー写真	志立 育
本文イラスト	川崎敏郎
本文デザイン	(有)ディーイーピー
DTP組版	朝日メディアインターナショナル (株)

1 プレミアリーグ20チームの紹介

世界最古のリーグ戦といわれるイングランドのフットボールリーグが創設されたのは1888年のこと。現在は、1992年に発足したプレミアリーグの20クラブを頂点に、2部から4部に相当するフットボールリーグの72クラブを加えた計92クラブがプロリーグに参加、その下のカテゴリーにもプロ、アマチュア問わず無数のクラブが存在している。ここでは、星の数ほどあるクラブチームの中から、実質的に国内1部リーグにあたるプレミアリーグの20チームを、各クラブの伝統や特徴を示すちょっとしたフレーズとともに紹介する。



- | | | | |
|--------------------|---------------|---------------------------|-------------------|
| ① Arsenal | アーセナル | ⑫ Manchester City | マンチェスター・シティー |
| ② Aston Villa | アストンビルラ | ⑬ Manchester United | マンチェスター・ユナイテッド |
| ③ Birmingham City | バーミンガム・シティー | ⑭ Portsmouth | ポーツマス |
| ④ Blackburn Rovers | ブラックバーン・ローバーズ | ⑮ Stoke City | ストーク・シティー |
| ⑤ Bolton Wanderers | ボルトン・ワンダラーズ | ⑯ Sunderland | サンダーランド |
| ⑥ Burnley | バーンリー | ⑰ Tottenham Hotspur | トッテナム・ホットスパー |
| ⑦ Chelsea | チェルシー | ⑱ Wigan Athletic | ウィガン・アスレティック |
| ⑧ Everton | エバートン | ⑲ West Ham United | ウェストハム・ユナイテッド |
| ⑨ Fulham | フルアム | ⑳ Wolverhampton Wanderers | ウォルバーハンプトン・ワンダラーズ |
| ⑩ Hull City | ハル・シティー | | |
| ⑪ Liverpool | リヴァプール | | |

① Arsenal Football Club アーセナル

愛称	The Gunners ガナーズ
創立	1886年
本拠地	London ロンドン
スタジアム	Emirates Stadium エミレーツ・スタジアム (60,361人収容)

合い言葉は“Play the Arsenal way”

プレミアリーグで異彩を放つ華麗なパスワークが売りのアーセナルには、“Play the Arsenal way (アーセナル流)”という合い言葉がある。かつては「強いが退屈なフットボール」といわれていたチームのカラーを一新したのは、1996年にやって来たアーセン・ベンゲル監督。Jリーグでも指揮を執ったフランス人指揮官は、海外の若手選手を積極的に起用して独自の攻撃的スタイルを作り上げ、2003/04シーズンには前人未到のリーグ無敗優勝を達成。当時のチームは“The Invincibles (無敵)”と称され、今も伝説となっている。近年はタイトルから遠ざかっているが、ベンゲルが人々を魅了するアーセナル流フットボールを捨てることはない。

② Aston Villa Football Club アストンビルラ

愛称	The Villa ビラ
創立	1874年
本拠地	Birmingham バーミンガム
スタジアム	Villa Park ビラ・パーク (42,783人収容)

“The draw specialist”からの脱却

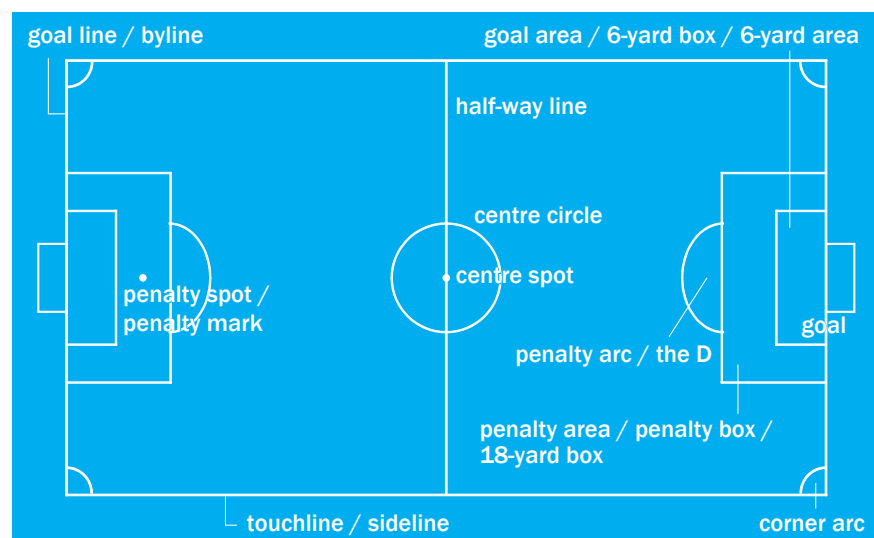
引き分けばかりで勝ちきれないチームのことを表現するのに、“The draw specialist”という言い回しがある。約18年のプレミアリーグ史の中で、最も多く引き分けを積み重ねてきたアストンビルラこそ、その典型といえるだろう。1888年のフットボールリーグ創設12クラブのひとつでもあり、リーグ7回、FAカップ7回の優勝、そして1982年には欧州王座にも輝いた実績と歴史を誇る強豪だが、プレミアリーグ創設以降はバツとしない時期が続いた。だが、熱血監督マーティン・オニールの下、若くて有望な「イングランド産」の選手たちを数多くそろえた最近3シーズンは、ビッグ4を脅かす存在になっている。

※ここで紹介する20チームは2009/10シーズンのもの。
また、スタジアムの収容人数は09/10プレミアリーグ公式発表の数字。

2 ピッチやポジションの名称

ここではフットボールのピッチやポジションの名称を紹介。日本でも使われている聞き慣れた用語が多いが、基本的なことなので正確に把握しておきたい。イングランドには2万1000以上のフットボール施設が点在し、そこには計4万5000のフットボールピッチがある。そのうち3万8000が芝のピッチ。これらのピッチ上に引かれた白線をつなぐと、オーストラリアまで届くとされている。では、どんな白線がイングランドとオーストラリアを結ぶのか、詳しく見てみよう。

▶ ピッチ Pitch



touchline / sideline

goal line / byline

goal area / 6-yard box / 6-yard area

penalty spot / penalty mark

penalty area / penalty box / 18-yard box

corner arc

penalty arc / the D

goal

centre circle

centre spot

half-way line

タッチライン

ゴールライン

ゴールエリア

ペナルティマーク

ペナルティエリア

コーナーアーク

ペナルティアーク

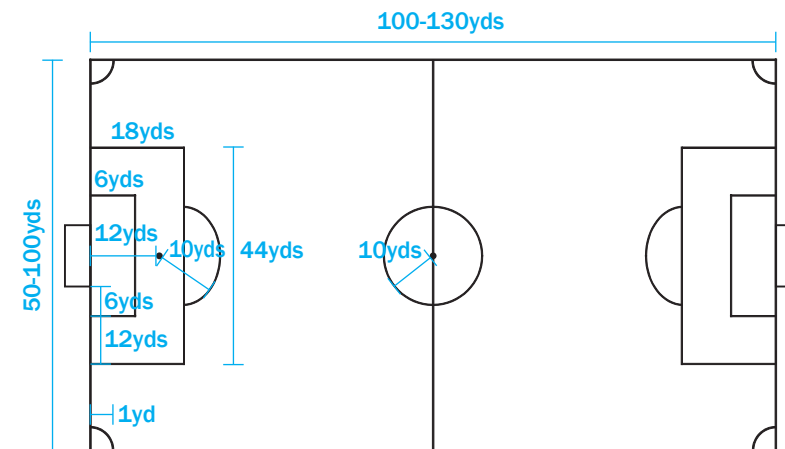
ゴール

センターサークル

センターマーク

ハーフウェーライン

* ここで挙げたのは代表的な表現で、ほかにもさまざまな言い方がある。例えば、フットボールの文脈で単に in the box といえば、ペナルティエリアのことを指す。

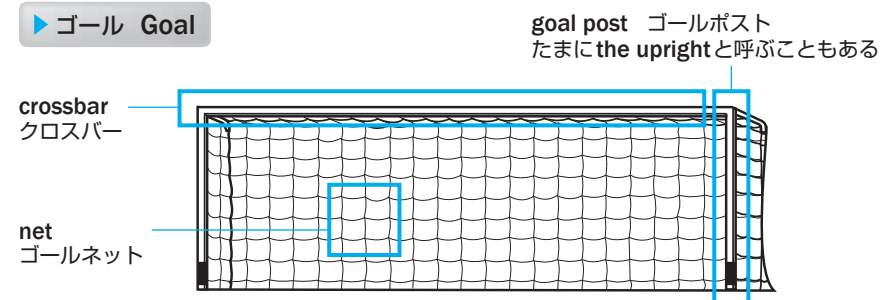


ピッチ：長さ 100～130ヤード (90～120メートル)

幅 50～100ヤード (45～90メートル)

* yd は yard (ヤード)、ft は feet (フィート。単数形は foot) の略で、英国で使われている長さを表す単位。
1ヤード=0.9144メートル、1フィート=0.3048メートルに相当する (1ヤード=3フィート)。

▶ ゴール Goal



woodwork / frame of the goal

ゴールポストとクロスバーを合わせた「ゴールの枠」のこと

ゴール：幅24フィート (7.32メートル)、高さ8フィート (2.44メートル)

ゴールに関する表現

find the back of the net

ゴールを決める

find the side-netting

外側からサイドネットを揺らす

into the side-netting

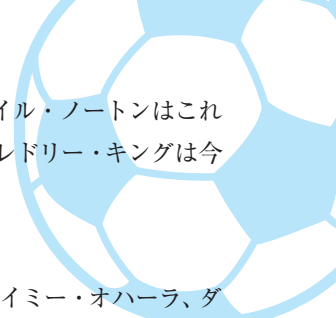
サイドネットの外側に

例 The home team might have doubled their advantage but the England striker **found the side-netting**.

リードを2点差に広げるチャンスがホームチームに訪れたが、イングランド代表FWのシュートは外側からサイドネットを揺らした。

■double：倍にする

■advantage：リード



Track 02

The team this afternoon lines up as follows: in goal, Heurelho Gomes, it's a debut for Kyle Naughton, another debut for Sebastian Bassong, Ledley King makes his first **appearance** of the summer and Benoit Assou-Ekotto.

Across the middle, David Bentley, Tom Huddlestone, Jamie O'Hara and Danny Rose. And **up front** it's Robbie Keane and another debut for Peter Crouch, who last featured for Tottenham in the **reserves** back in the year 2000 prior to his departure to Queens Park Rangers.

Temuri Ketsbaia has managed a time here, a team here already, that was back in 2007 when he led Famagusta against Tottenham in the UEFA Cup.

今日のスタメンはこちらです。GKはヘウレリョ・ゴメス。カイル・ノートンはこれがデビュー戦。セバスティアン・バソングもデビュー戦です。レドリー・キングは今夏初出場。そしてベノア・アスエコト。

中盤では、デイビッド・ベントリー、トム・ハドルストン、ジェイミー・オハーラ、ダニー・ローズが横一列に並びます。前線は、ロビー・キーンと、こちらもデビューとなるピーター・クラウチ。クラウチが最後にトッテナムでプレーしたのは2000年のこと。クイーンズ・パーク・レンジャーズに移籍する前のリザーブチームの試合でした。

(オリンピアコスの) テムリ・ケツバイア監督は、2007年にもファマガスタを率いて、ここでトッテナムとUEFAカップの試合を戦ったことがあります。

Track 03

Taking charge of the game this afternoon Steve Bennett. No stranger to White Hart Lane.

So Tottenham line up in their new **away kit** that's **been launched** yesterday. Blue shirt, blue shorts, blue socks.

Tottenham will be attacking the **Park Lane** end of the ground in this first half. On the bench for Tottenham: Carlo Cudicini, Aaron Lennon, Pavlyuchenko, Luka Modric, Jermain Defoe, Pascal Chimbonda, Vedran Corluca, Kevin-Prince Boateng, Jake Livermore, who scored at Wembley against Barcelona, John Bostock and Jonathan Obika. Plenty to choose from.

今日の試合を裁くのは、スティーブ・ベネット。ホワイト・ハート・レーンにもなじみがあります。

トッテナムは、昨日発売された新しいアウェーユニフォームを着用。青いシャツ、青いパンツ、青いソックス。

トッテナムは前半、パーク・レーン側に向かって攻めます。トッテナムの控えは、カルロ・クディチーニ、アーロン・レノン、パブリュチェンコ、ルカ・モドリッチ、ジャメイン・デフォー、パスカル・シンボンダ、ベドラン・チョルルカ、ケビンプリンス・ボアテング、そしてウェンブリーでのバルセロナ戦でゴールを決めたジェイク・リバモア、それからジョン・ボストックとジョナサン・オビカです。選択肢は豊富です。

Key Words & Phrases

Track 01

- **focus on** ~: ~に焦点を合わせる
- **pre-season**: プレシーズン
シーズン開幕前の時期。
- **in a matter of minutes**: ほんの数分で
- **entertain**: 楽しませる、歓待する
対戦相手をホームに迎える際に使われる。

Track 02

- **appearance**: 出場
例えば **first appearance of the season** なら「今季初出場」のこと。
- **up front**: 前線で、FWの位置で
- **reserves**: リザーブチーム
トップチームではなく、控え選手や故障明

Track 03

- **take charge of** ~: ~を担当する、監督する
ここでは、「審判を務める」の意味。
- **away kit**: アウェーユニフォーム
home kit / **third kit** / **goalkeeper kit** などもある。
- **be launched**: 発売される、発表される
- **Park Lane**: パーク・レーン
ホワイト・ハート・レーンを囲む道路のひとつ。パーク・レーン側のスタンドは **South Stand**。通常、テレビ画面では向かって左手のスタンドになる。逆サイドのスタンドは **North Stand** で、**Paxton Road** という道路に接している。